

目標となる地物（川、駅、公園、店舗など）を記入する。

方位を記入する。



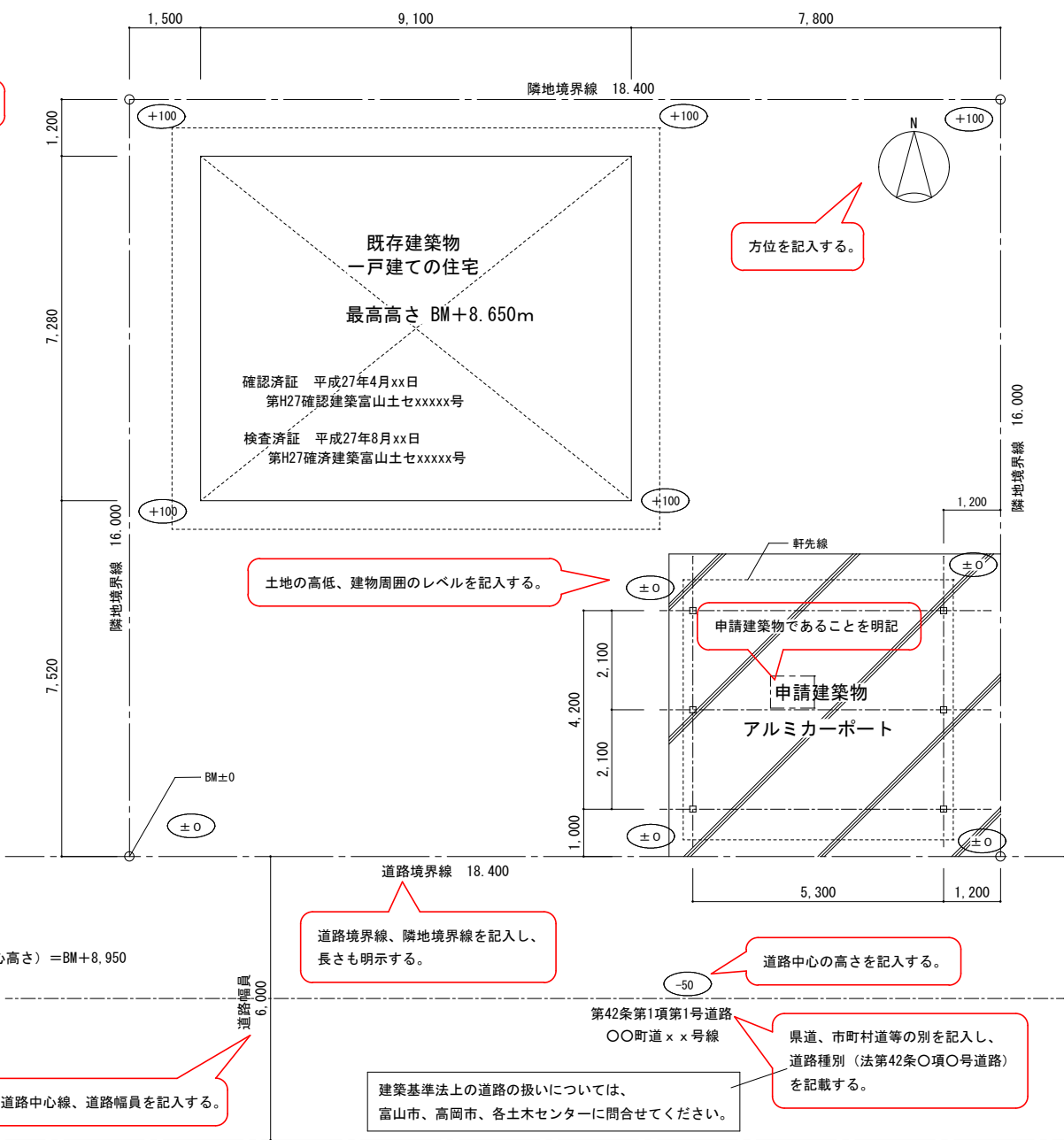
付近見取図

図面名称を記載する。
住宅地図でも可（方位は必要。）

※道路境界線における道路斜線制限高さ=BM+6,000×1.5-50（道路中心高さ）=BM+8,950
最高高さは、既存建築物を含めても BM+8,650 のため適合している。

高さ（斜線）制限について、図示するか、言葉説明する。
制限値に余裕がない場合は、立面図等での検討が必要。

道路中心線、道路幅員を記入する。



土地の高低、建物周囲のレベルを記入する。

申請建築物であることを明記

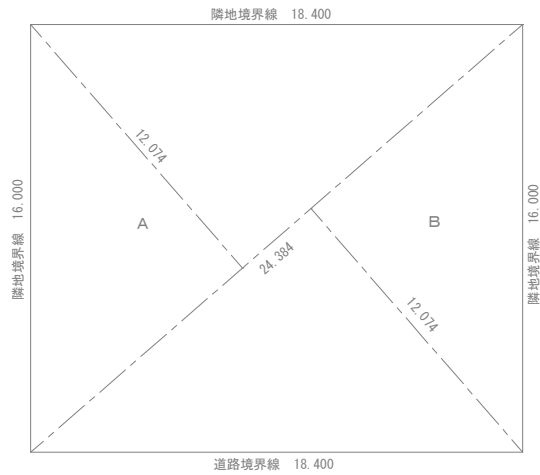
申請建築物

道路中心の高さを記入する。

県道、市町村道等の別を記入し、道路種別（法第42条○項○号道路）を記載する。

設計者が氏名を記載する。

配置図・平面図 1/100



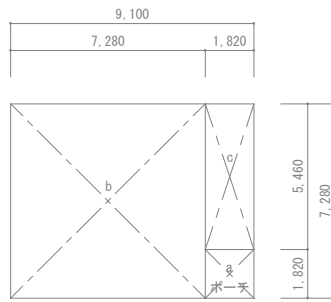
敷地面積求積図 1/200

敷地面積表

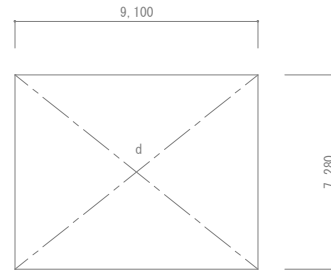
符号	底辺	高さ	倍面積
A	24.384	12.074	294.4124
B	24.384	12.074	294.4124
		倍面積合計	588.8248
		合計面積	294.4124
		地籍	294.41㎡

三斜計算により求める。

増築の場合、敷地面積や既存部分の求積は、既存部分の
確認申請書等の設計図書の図面を参考に作成する。
なお、現状と相違ないか注意する。



既存建築物 1階床面積求積図 1/200



既存建築物 2階床面積求積図 1/200

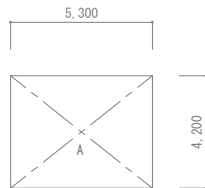
既存建築物 面積表

記号	計算式	面積 (㎡)
a	1.820×1.820	3.312
b	7.280×7.280	52.998
c	1.820×5.460	9.937
d	9.100×7.280	66.240
1階床面積	$b + c =$	62.93 ㎡
2階床面積	$d =$	66.24 ㎡
延べ面積		129.17 ㎡
建築面積	$a + 1階床面積 =$	66.24 ㎡

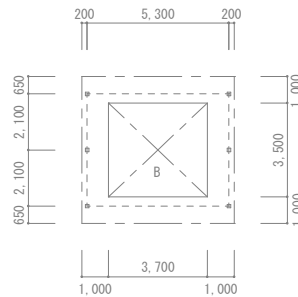
既存建築物の求積も必要。
(過去の確認申請の求積図の写しがある場合は、下の面積表のみ記載すればよい。なお、この場合、既存求積図は不要とする。)

既存建築物 面積表

記号	計算式	面積 (㎡)
1階床面積		62.93 ㎡
2階床面積		66.24 ㎡
延べ面積		129.17 ㎡
建築面積		66.24 ㎡



申請建築物 床面積求積図 1/200



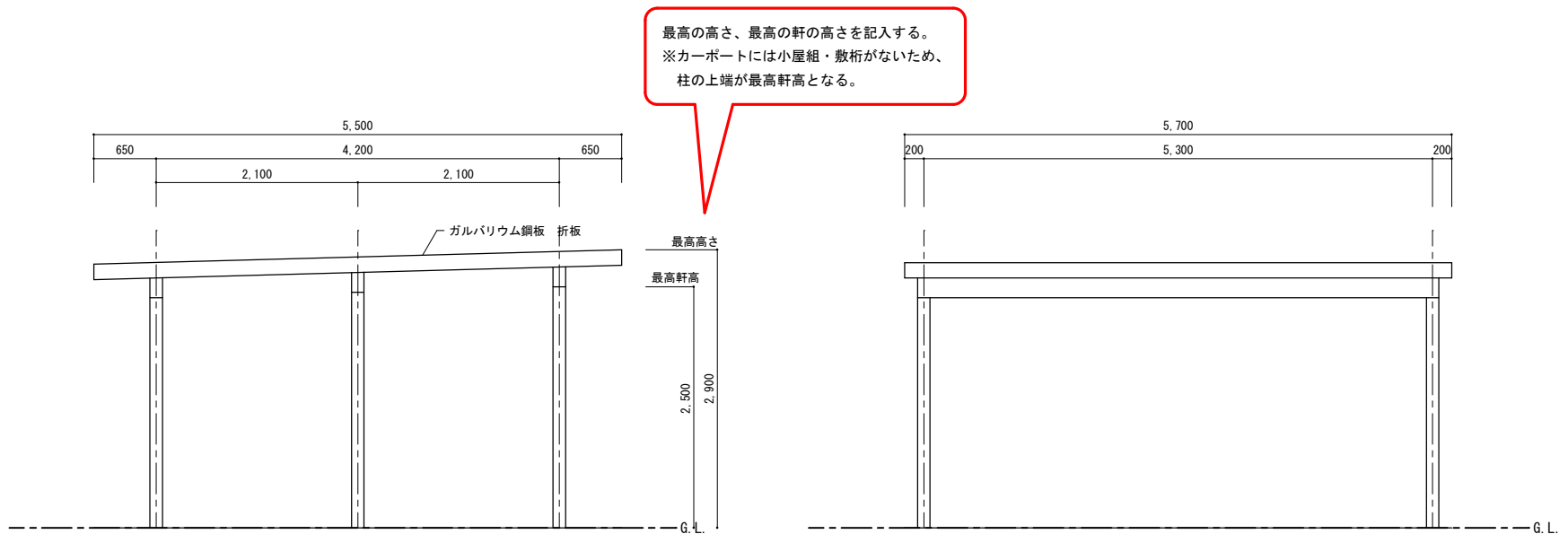
申請建築物 建築面積求積図 1/200

申請建築物 面積表

記号	計算式	面積 (㎡)
A	5.300×4.200	22.260
B	3.700×3.500	12.950
延べ面積	$A =$	22.26 ㎡
建築面積	$B =$	12.95 ㎡

壁のないカーポートは、軒の先端から
1m後退した部分で建築面積を算定する。
(ただし、柱間隔が2m以上、天井高が
2.1m以上の場合に限る。)
その他の場合は、柱芯で算出する。

求積図 1/100



東側立面図 1/100

方向がわかるようにする。

南側立面図 1/100